

令和4年度第2回瀬戸市環境衛生審議会議事録		
日 時	令和5年1月27日(金) 午後2時から午後4時まで	
場 所	瀬戸市役所 北庁舎5階 全員協議会室	
出席者	委 員	出席者：小林会長、藤井副会長、伊藤委員、服部委員、 加藤委員、古謝委員、萱岡委員、大倉委員 (Web) 欠席者：なし
	事務局	藤井市民生活部長 (環境課) 加藤課長、渡邊課長補佐、堀田専門員、小林主任
	計画策定 受託者	(中日本建設コンサルタント(株)) 山田、佐伯、高橋、尾崎
傍聴者	3名	
1 開会		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡邊課長補佐から会議成立の報告 ・ 藤井市民生活部長から挨拶 		
会長	<p>現行の一般廃棄物処理基本計画は、令和5年度で計画期間の10年を迎えるとともに、令和6年度からは次期の一般廃棄物処理基本計画が始まるという節目を迎えます。</p> <p>プラスチック製容器包装の分別、本年9月から始まるごみ処理費用の有料化とかなり大きな転換点を迎え、ごみ減量の在り方、進め方も今後、大きく変わってくるのではないかと考えています。</p> <p>これからプラスチック・紙を分別し、これまでと同様にリサイクルもしっかりすると、残るのは生ごみと少しのリサイクルできない紙くらいになると予測しております。そう考えると、ごみの扱い方というものは、急速に変えられるかもしれないと考えております。もちろん、費用対効果ということも非常に重要でありますので、急速に変えるということとはできないと思います。</p> <p>本日は皆様も本音を出していただいて、次期の一般廃棄物処理基本計画につなげていければと考えております。</p>	
2 議事		
報告事項(1) ごみ減量アクションプランについて		
事務局より資料1に基づき説明した。		
会 長	<p>委員の皆様、ご質問等あればよろしく申し上げます。</p> <p>私から確認ですが、燃えるごみが令和3年度と令和4年度の12月を比較すると162t減り、プラスチック製容器包装とミックスペーパーの収集量が90t増加との説明でしたが、それよりも多く燃えるごみが70t減っていることから、燃えるごみが資源物の収集量以上に減っているという理解でよろしいですか。</p>	

事務局	そのとおりです。
会 長	他に質問はいかがでしょうか。
委 員	1 つ目は、剪定枝の資源化について、拠点持ち込みと回収の検討と書いてあるのですが、具体的に拠点持ち込みというのは、近くの集積所なのか、資源リサイクルセンターを考えられているのか教えてもらえますか。
事務局	拠点持ち込み場所として、資源リサイクルセンターではなく、クリーンセンターを想定しており、市民の方々には車で剪定枝を積んできて、持ち込んでいただくことを考えております。
委 員	使い勝手のことを考えると資源リサイクルセンターの方が分かりやすいかなと市民として感じるのですが、そこはキャパシティー的に難しいということですか。
事務局	そのとおりです。剪定枝を大量に持ち込むことが想定され、ある程度広い場所を用意する必要がありますので、資源リサイクルセンターでは少し手狭になります。
委 員	新たな場所の周知の方法も考える必要があるのではと思いました。 もう一つ、広報掲載・啓発チラシについて、説明で3Rポスターという言葉がありました。詳しく教えていただきたいです。
事務局	3Rポスターは、市内の小中学生にごみの減量などの内容を描いていただき、市で回収し3Rポスターを主催している団体へ送っております。 市内の小中学生が描いた絵を、我々の方でも広報せと、分別辞書などに載せさせていただくなど活用できないかと考えております。
委 員	小中学生が描いたポスターということですね。そうすると、市民の一体感も出てよさそうだと思います。これを掲載する場所はこういったところになりますか。
事務局	公共施設などでポスター掲示をするのではなく、環境課が作成する啓発チラシ等に掲載させていただき、市内の小中学生が描いたごみの減量に関する内容等をPRすることを考えています。
委 員	啓発のチラシということですか。
事務局	そのとおりです。
委 員	市民が手に取れる場所にチラシを置いておくということでしょうか。それとも全戸配布とか、どのような形となるのですか。
事務局	まずは分別辞書の作成を想定しており、皆様方の家庭に届くように配布することを考えています。そのページの一部に、3Rポスターの絵が何個か掲載するようなイメージを持っております。
委 員	承知いたしました。
委 員	3Rポスターについて、私には小学生の娘がいるのですが、あまり描いているという話は聞いていないのですが、全ての小学生が描いているということ

	<p>なのでしょうか。</p>
事務局	<p>3Rポスターは国の外郭団体が募集しております。瀬戸市にお住まいの小中学生の方に、このポスター作成の依頼をさせていただいております。</p>
委員	<p>この質問をした背景としては、夏休みに子供たちが「明るい選挙」とか、選挙のことが分からないのに描くポスターとかあると思います。描かなければいけないとなると選挙って何だろうと、子どもなりに調べないと描けないというものなので、教育の一環としてこのようなごみの減量や3Rポスターを子どもたちに描いてもらうというのは、学習の一環として良い取り組みであると思いました。</p> <p>令和4年10月にプラスチック製容器包装の分別が始まり、家でも分別させるために、ゲームではないのですがしっかり分別ができた人はえらいというような形でやらせています。子どもは意外と適応も速いですし、影響力というものもあるのかなと思いますので、市内の小中学校に取り組みを広げると良いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>参考にさせていただきます。</p>
委員	<p>コンポスト、生ごみ処理機等購入支援を令和5年度も行う予定と説明されましたが、本年度と同じ規模でしょうか。本年度は10月1日から開始されているのですが、令和5年度は年度始めからなのか、規模について教えてください。</p>
事務局	<p>本年度は10月から開始ということで半年間、予算100万円で開始し、残りもあと少々になりました。</p> <p>令和5年度はまだ予算としては確定しておりませんが、年度当初の4月から開始し、予算は150万円、期間としては1年間を想定しています。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>アクションプラン全体に関してのことですが、私たち主婦の立場で言いますと、色々な話が出ています。広報を見て正確に分かっている方と、そうでない人から聞いて伝えると間違った内容が広がることもあります。できましたら決まったことをまとめて、その都度、例えば11月まではプラスチック製容器包装を出す際、資源物指定袋がなくても、通常の燃えるごみ指定袋でも良いといったことが今年の3月まで出せるということを知ることがあります。また、布団の出し方においても十文字に縛って燃えるごみ指定袋を付ければよいとか、絶対にごみ指定袋に入れなければいけないなど、そのあたりを順番に慣れていくのが重要であると思うものの間違わないような方法を考えていただきたい。内容もミックスペーパーと雑がみについて別のものだと考えている方もまだおられますし、そのあたりを統一するよういただきたい。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。正確な内容を伝えることができるよう啓発していきます。</p>

会 長	<p>他にいかがでございましょうか。</p> <p>私から紙おむつ処理支援のところ、要介護4又は5と記載してありますが、要介護3を入れないのはどのような判断をされたのか。これについてどなたかのアドバイスで判断されたということでしょうか。</p>
事務局	<p>要介護については、担当課から要介護4又は5の方とか、身体障害者手帳で下肢または体幹が1級又は2級の人というようなところで、一定の線引きをするのが妥当ではないかという意見に基づきまして、今回のような案を考えさせていただきました。</p>
会 長	<p>有料化ともセットになるところですので、慎重に、丁寧に対応していただきたいと思います。</p>
委 員	<p>最近、収集できないゴミ袋が多くあると聞いております。資源物指定袋など、袋の使い方を理解していない人がいるとの認識ですが、その対処方法をどのように考えているのか確認したい。</p>
事務局	<p>燃えるごみの袋の中にプラスチック製容器包装が入ったものが集積所に出されている場合は、燃えるごみとして収集しております。</p> <p>一方で、資源物指定袋に燃えるごみが入っているものが出されていた場合は、啓発ステッカーを貼り一定の期間置かせていただいた後に、収集をするという形を取っています。</p> <p>あまりに内容物が違うものが入っている場合には、地域の方から連絡をいただきましたらごみを取りに行き、袋を開封し住所、名前等分かるものがあれば、お手紙を送付するという対応をしております。今後もこのような対応を続けていきたいと考えております。</p>
事務局	<p>分別辞書の説明について補足いたします。全戸に配布をして、ごみの排出方法をお示しできるよう考えております。また、辞書を配布する際には袋のサンプルを同封するよう事務を進めているところでございます。</p>
委 員	<p>その件について、ある自治会で不適切な排出に関し、啓発チラシを作成し町内会で配布したところ、不適切な排出が少なくなったと聞いております。そのようなチラシを環境課で作成されることはないでしょうか。</p>
事務局	<p>市も同様の話をお聞きしており、ある町内会でチラシを配布したところ、集積所での問題が少なくなったようです。</p> <p>現在、チラシ作成の要望をいただいております、自治会で回覧していただくよう準備を進めており、瀬戸市自治連合会の定例会で話をさせていただく予定です。</p>
委 員	<p>ありがとうございます。</p>
2 議事	
報告事項(2) 現行の瀬戸市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について	
事務局より資料2に基づき説明した。	
会 長	<p>ご説明ありがとうございました。それではご質問等あればご発言ください</p>

	い。
委員	先ほど、学校への生ごみ処理機の設置において評価は「×」になっています。今後、これは難しいからやらないということですよ。
事務局	難しい状況であって、未実施になります。
委員	以前から私はごみ減量推進会議の委員をしており、学校給食で残したものをコンポストで処理することを体験させようと思いましたが、子どもが残した給食を堆肥化するというのは大変時間がかかって難しかったです。その堆肥を使って育てた大根を使って料理をさせる、いわゆる循環型社会を体験させることを5、6年生でやったことがあるのですが、全くダメでした。まず、コンポストで失敗をしまして、その理由として学校給食に塩分が入っており堆肥化が難しいというものでした。今回の生ごみ処理機というのは乾燥させて処理するというものですか。
事務局	委員の言われたとおりであったと思われま。
委員	<p>大型の生ごみ処理機というのは分かりませんが、堆肥化のものだと道の駅など色々なところにあり結構成功していると思います。</p> <p>子どもたちの教育にも反映できるような生ごみを処理する形にするなど、モデル校をやめてしまうのではなく、違う手法で考えられたらどうかと思います。家庭用として以前は、生ごみ処理機の補助金を出していましたが申請する人がなく、廃止になった経緯があると思います。それが現在は、100万円の予算のうち残り僅かになるまで交付され、前向きに考えられるようになったということは、それだけ時代が変わっているのかもしれないので、継続していくべきと思います。</p> <p>また、補助金が出るということ、最近知った方もいると思いますので、機会があるごとに皆さんの税金が活用されているということを周知していただければと思います。ただ、ごみ袋が値上がりすることに皆さんの目がいつているのではないかと思いますので、その辺を上手に活用できれば良いと思います。</p>
事務局	参考にさせていただきます。
会長	他にはいかがでしょうか。最後に排出量の現状、当初の目標に対しての現在の姿についても明示していただいています。たまたまプラスチック製容器包装の回収が始まってどんどん落ちて、1番下げたい家庭系1人1日当たりのごみ排出量はかなり下がったということ。資源を除く数値を下げたいとなると最後の数値が重要であるということですよ。
委員	そのあたりについて少し質問になりますが、はじめに今年度の10月から開始しているプラスチック製容器包装の件は、令和4年度の数値は未反映という理解でよろしいでしょうか。
事務局	そのとおりです。まだ令和4年度は終わっておりませんので、反映しておりません。

委員	令和4年度はここからさらに下がると予測ができると考えてよろしいでしょうか。
事務局	下がるという予測であります。
委員	10月、11月、12月の傾向が続けばということですね。
事務局	そのとおりです。
委員	承知しました。
委員	資源化率について、説明の中にスーパーマーケット等色々な所で回収しているのですが、この数値が正しく反映できているかどうかは分からないという話がありましたが、そのような場合、見直しなどは行わないのでしょうか。この計画の中では10年間このままの目標値ということで統計を取っていくという形なののでしょうか。
事務局	この計画は10年計画でございまして、中間の5年目には内容も含めて見直しを掛けておりますが、見直しはしておりません。
会長	そこについてのトレース化は難しい状況だと思います。途中で直してよいのかということについては、次の決めごととして考えればよいのではないかと思います。この10年が適切なのかということもあるのかもしれませんが、それについては、また、議論していただくことになると思います。重点項目は、見直して修正をしたと思いますが、数値についても議論をしたはずですが変えないということに決定をしたものです。
3 議事	
協議事項(1) 令和5年度一般廃棄物処理実施計画(案)について	
事務局より資料3に基づき説明した。	
会長	只今の説明に関してご質問、ご意見ある方はよろしくお願ひします。
委員	この計画案に対しての質問ではなく個人的な感想になってしまうのですが、年間排出量見込みが37,489t/年で、目標が36,000t/年に対すると、まだ1,500t/年くらい足りないですが、これは、これまで我々が取り組んできたプラスチック製容器包装の話だとか、いま議論している剪定枝だとか布団だとか、そのようなところも全て見込んで、まだ1,500tくらい足りないという捉え方でよろしいでしょうか。
事務局	そのとおりです。国は総排出量も重要視しておりまして、資源化を図る一方、資源物自体も減らしていくというような取り組みが、今後、求められると思います。
委員	確実に減ってきていますが、まだ少し足りないというところで、1,500t分を頑張らなければならないというところだと思います。本当はすぐに達成しなければならないとは思いますが、なかなか劇的には改善できないと思うので、我々市民も燃えるごみの排出もそうですし、プラスチック製容器包装も含め、資源として回収できるものは積極的に出そうと思っておりますが、こういっ

	た状況を周知というか、市民に定期的に知ってもらおう中で、このような回収方法があり、もっと促進していこうということをアナウンスすることも大事であると思いますので、よろしくをお願いします。
会 長	ご意見ありがとうございます。他にいかがでございましょうか。
委 員	質問になりますが、一般廃棄物の排出抑制及び資源化のための方策のところで、この並び順は、上から重要な順番に並んでいるのでしょうか。何かルールがあるのでしょうか。
事務局	この順番に特別な意味を持たせていないと理解しております。何か記載の方法に関してご助言があれば修正したいと思います。
委 員	通常であれば何かルールに基づいてカテゴリー分けされているのではないのでしょうか。 例えば、広告、宣伝のようなものと同じようなカテゴリーなのに、バラバラに配置されており少し見づらいと思います。大事な順、訴えたい順に並んでいるのが1番目に入るのではないかと思います。
事務局	カテゴリー別などに順番を並び替えるとともに、数値が再度改まったら書面等でまたご審議していただきたいと思います。
会 長	ご意見ありがとうございます。順番を変えて再審議をするとおっしゃっていましたが、そういうことですか。
事務局	今回は大枠の意見をいただき、2月までの数値を反映したものを最終的に告示いたします。その際にカテゴリー別などに順番を並び替えたいと思います。
委 員	廃油はどの家庭でも出ると思うのですが、私の家では廃油を取っておいて石鹸を作り、それで皿を洗ったり、洗濯に使ったり、誰かにプレゼントしたりして、また誰かから廃油を貰うことをしています。 資源リサイクルセンターでも廃油を回収していますが、やはり容量が小さい、また、どれくらいの方がもって来られるのかと気にしています。 実際、燃えるごみとして固めて捨てるという方も多いと思うので、廃油について何かできればと思いました。
事務局	ありがとうございます。資源リサイクルセンターで廃油を回収しており、最終的に売却していますが、一般家庭では固めたり、布等に染み込ませて処分したりという形が多いと思いますので、資源リサイクルセンターと協力して啓発を行っていきます。
会 長	ありがとうございます。現在、廃油は取り合いになっていますね。日本では確か廃油の発生量は4、50万tですかね。10年以上前の話になりますがそれほど変わってないでしょうから、これからの脱炭素社会という意識においては、非常に重要な点でありますので、是非、前向きに考えると良いかなと思います。他にいかがでございましょうか。
委 員	先ほどの私が質問させていただいた1,500tくらい足りないというところの

	<p>話についてですが、ごみの内訳において 37,000t くらいの大半が 21,000t の家庭系の燃えるごみで、次に割合が大きいものが事業系の燃えるごみであると思います。</p> <p>家庭系ごみでは、最近、資源物でプラスチック製容器包装やミックスペーパーの分別を実施していますが、事業系の燃えるごみの中にも本来リサイクルできるものがたくさん含まれているのかなと思います。</p> <p>この計画だとどこに見積もられているのか、既に事業系の中でもリサイクルができるように、メスを入れていこうとされているのかについて伺います。</p>
事務局	<p>本市は事業系ごみの減量に関する施策が十分ではない部分があります。次期計画においては、事業系のごみの削減に関し、反映させていく必要があると考えております。</p> <p>一般的に事業者が出すごみとして、各事業者が排出責任をもって対応しており、事業系一般廃棄物は晴丘センターで受け入れております。この事業系一般廃棄物を減量する施策というものが、この10年間展開されておらず、毎年同じような数値になっております。先ほどの現状達成目標の中でも事業系一般廃棄物が含まれるため、減量につながっていないことが一つの要因として挙げられますので、次期計画の中で事業系一般廃棄物についての施策を考えて参りますので、商工会議所様を始め引き続きご助言いただきますようお願いいたします。</p>
委員	<p>事業系のところについても、何か手を付けた方が良いかなと個人的に思いました。</p>
会長	<p>ご指摘ありがとうございます。事業系ごみについては、本当はもう少ししっかりと進めていきたいと前々からありまして、立ち入りくらいはしても良いのではないかと何度か申し上げたこともありますが、商工会議所を始め、市民の一員としてご協力いただくということは大変重要であると思います。CSRも含めて非常に意義の高いことでもあると思います。加藤委員、何かそういった観点から活動されているということはあるのでしょうか。少しご紹介いただければと思います。</p>
委員	<p>今のところ目立った活動はしておりません。商工会議所自体では色々やっていますが、なかなか事業者の方にそのようなものは活動できておりませんので、今後、進めていければと思います。</p>
会長	<p>是非よろしく願いいたします。他にいかがでございましょうか。</p>
副会長	<p>企業にとって事業系一般廃棄物が減ることは良いことであるはずなので、色々な見直し方があるということ、今、議論がありましたが令和5年度の見込みが 37,500t で目標の 36,000t には届かない、ある意味、諦めたというように見えてしまいます。</p> <p>だからと言って目標値を 36,000t にしてそのとおりにいかなかったら意味</p>

	<p>がないのですが、1,500t くらい足りないというところで方策としては、一般廃棄物の排出抑制の方が大事です。資源化にまわしたところで、総排出量にはカウントされてしまうので、資源量が増えたところで意味がないのですよね。その中で、一般廃棄物の排出抑制及び資源化のための方策項目として10項目を上げているうちのどれが最も重要か、1,500t 減らすために、市としてはどのような認識でしょうか。</p>
事務局	<p>毎年組成調査を行っており、調理くずと食品ロスが大体2割から3割ほどあり、毎年、若干の増減はあるものの概ね同じ水準となっています。生活スタイルが変わらないというのが主な要因ではないかと考えられます。</p> <p>また、食品ロスは水分を含んでおり重量があるものですから削減することは重要であると考えております。なお、次期計画において食品ロス計画も策定してまいりますので、力を入れていければよいと考えております。</p>
副会長	<p>私もそのような認識でして、食品ロスの発生抑制がかなり重要であると思っておりますので、順番などを精査される際にこのあたりを上位にして、大事にしていかなければならないのではと思っておりました。よろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>重要なお指摘です。ありがとうございます。他にいかがでございましょうか。</p>
事務局	<p>事業系のごみについて、ここで取り扱っているのは一般廃棄物ですが、事業者からは産業廃棄物も排出されます。収集運搬業者が事業者を回ってごみを収集してくるのですが、その中に事業系一般廃棄物に混ざって産業廃棄物が入ってくるが多々あると思っております。</p> <p>事業者が出すごみを私たちが見ることなしに晴丘センターに運ばれて捨てられている状況となっています。晴丘センターで受け入れるものが一般廃棄物のみであるということで、産業廃棄物が持ち込まれた場合は違法になりますので、定期的にパッカー車を止めて内容物の確認を行っております。その中で、ビニール系がたくさん出てきたり、産業廃棄物がたくさん入っていたりということが現状であるため、そのあたりを尾張東部衛生組合と共同で何かできないかと考えていきたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。なかなか区分けは難しいと思うのですが、やはり事業者が廃棄物そのものを減らすということが一番重要です。</p>
<p>3 議事 協議事項（2）次期一般廃棄物処理基本計画の策定について</p>	
<p>事務局より資料4に基づき説明した。なお、協議事項（1）、（2）ともに小林会長には諮問文の原本を、委員にはその写しを配布させていただいていることを報告した。</p>	
会長	<p>ありがとうございました。では只今の説明に関してご質問、ご意見ある方はよろしくお願ひします。</p> <p>最初に私からよろしいでしょうか。この基本計画の上位計画で一番重要な</p>

	<p>のは、瀬戸市環境基本計画になると思うのですが、その概要を見ているとごみに関しては、資源循環型まちづくりの推進、ここが直接関係するところのようです。全部読み込んでいないので申し訳ございませんが、その中で3Rの推進、ごみの適正処理の推進、産業廃棄物・不法投棄対策の推進、これが3つの項目として挙がっています。その下に、食品ロスの削減やミックスペーパーの分別によるごみの減量化や、ごみ処理にかかる費用負担の適正化を図るというものがあり、環境基本計画の中に重要項目として書かれていることを、皆さんにご承知おきいただければと思います。また、この基本計画で一番重要なのは、10年後の廃棄物の処理量です。処理量の目標をどれくらいにするのが重要なことでそれを達成するために何をしていくのかということ立案するということだと思います。そのような考えでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
会長	<p>もう1つ伺いたいのですが、晴丘センターの建て替えがあると思いますが、何年後でしたでしょうか。実際に計画が決定するのはいつでしょうか。まず、何年に建て替える予定であるのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>約10年後でございます。延命化工事を昨年5月まで行いましたので、実際はコロナの関係で2か月伸びたのですが、今の施設が使用できるのが令和14年の3月になります。予定どおりでいきますと、令和14年の4月から新たな施設が稼働することになります。</p>
会長	<p>分かりました。処理量をいくつに設定するというのが重要なところであると思います。それに関わるごみをどのように考えるのかは、基本計画と関係するのではないかと思います。大きな将来計画と今回考える新しい基本計画との関わりを、どのように考えるのかは私にも分かりませんが、例えば、生ごみを全部リサイクルしましょうとすると全然違う話になります。プラスチックのリサイクルについても、法律では全て回収することになっており、今すぐというわけではございませんが、仮に5年後プラスチックを全部回収しなさいとすれば見込み量も全然違うわけですし、ミックスペーパーも目立ってきますので、リサイクルすることになります。そうすると残るのは生ごみになり、生ごみが無くなったら何もなくなります。そのようなことはないと思いますが、どのように考えるのかは、重要であると考えております。瀬戸市だけで考えるのではなく、県、市、町で一緒になって考えていく必要があります、悠長に考えてもいられないので、早めに考えていくとよいと思います。</p>
事務局	<p>次期の一般廃棄物処理基本計画について、今、本市だけが作っているわけではございません。尾張東部衛生組合の構成3市である瀬戸市、尾張旭市、長久手市の全てで令和6年からと足並みを揃えて行っていくこととなっています。我々もそうなのですが、尾張旭市、長久手市が作ったものを尾張東部</p>

	衛生組合でまとめ、それを元として次期施設の計画を作っていくこととなっています。
会 長	ありがとうございます。 ご質問、ご意見ある方はよろしくお願ひします。骨子が出てくるのが来年度の第1回の審議会ということによろしいでしょうか。
事務局	そのとおりです。
会 長	では、その前に皆様には積極的にアイデアをお考えいただき、ご提案いただければと思います。 商工会議所も必ず関係してまいりますので、積極的なアクションをお願いいたします。そろそろというべき時代になってきたかなと思います。経済活動の火を消してはいけませんし、難しいところではございますが、コスト削減に直結しますので、そういった観点から積極的にお考えいただければと思います。 それでは次期計画の策定スケジュールを皆様にご認識いただいたということによろしいでしょうか。
4 その他	
会 長	それでは、次期計画の策定スケジュールを皆様に承知をいただいたということで、その他に移りますが、委員の皆様からご発言ありますでしょうか。
委 員	先日、広報誌が自宅に届いて、いつも楽しみに読ませていただいております。「議会だより」でプラスチック製容器包装の減量について、市民の方とお話をする機会があって、月2回の回収だと少ないので週に1回にしてほしいということが書かれていたのですが、この件について、今は検討中ということによろしいのでしょうか。
事務局	分別収集をスタートして3か月ということで、我々も当初から回数は出る量に応じて増やしていくことを視野に入れております。 ただ、正直に申しますと見込みよりも早い速度で市民の皆様分別にご協力いただいております。回収量が増えている状況であります。回収については、拠点での回収や、収集する回数を増やしたり色々な方法がありますので、その見極めを早めにやらせていただきたいと考えておまして、しばらくは今の2週に1回という形になりますが、その検討は早めに行きたいと考えております。
委 員	ありがとうございます。それが実現できれば、燃えるごみにプラスチック製容器包装を入れたり、ミックスペーパーを入れたりする方も減っていくのではないかと思います。
会 長	ご意見ありがとうございます。他にいかがでございましょうか。
委 員	今年度、瀬自連で決めたことがあります。11月中に全市で各地区の清掃活動を行います。普通に清掃しているところもありますが、それ以外のところが行えたらという理由の元、全市で1か月の間に行える状態を作っていま

	すので報告させていただきます。
会 長	ありがとうございます。
委 員	もう一つ、オオキンケイギクという外来種があるのですが、5月の花の咲く時期に駆除しようと計画をしています。今の計画では4地区が行うということになっています。市で根から除去できるような道具を用意していただいたので、私どもも協力しながら行っていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。
会 長	ご紹介ありがとうございます。広報等で報告されるということはあるのでしょうか。
事務局	実施内容は伺っております。
会 長	連携して進めたいということでよろしく願いいたします。他にいかがでしょうか。それでは事務局から何かあればよろしく願いします。
事務局	第3回審議会の日程についてお話させていただきます。年度末で3月20日から3月31日という本当に短い期間で申し訳ございませんが、その期間で開催させていただきたいと考えておりますので、メールでも結構ですので回答をお願いしたいと思います。
会 長	どうぞよろしく願いいたします。では事務局からは以上でよろしいでしょうか。
事務局	はい、大丈夫です。
5 閉会	
会 長	これを持ちまして本日の会議を終了いたします。どうもありがとうございます。